

特集

臨床写真 図鑑

レアな疾患編

見逃したくない疾患の
コモンな所見

企画 | 忽那賢志

近年、“臨床写真ブーム”が到来しています。

え、そんなブーム聞いたことがない？

いえいえ、そんなことはありません！

現に、臨床写真の上手な撮り方や NEJM 掲載のコツなどを聞かれることが、以前より増えました。

そして実際に、NEJM に投稿し掲載されたというツワモノの先生方も現れています。

2018年には「日本臨床写真学会」も設立され、

第1回学術集会には70名もが参加しました。

臨床写真ブーム、ガチでキテます！

なぜ、こんなに「臨床写真」が盛り上がっているのか？

臨床写真は情報量が多く、診断への寄与や治療効果判定など、

臨床面での実用性は多大です。加えて、鑑賞の対象であったり、

コレクター心をくすぐったりという側面もあるのではないかと思います。

本特集では、「レアな疾患のコモンな所見」をテーマに、

臨床家の先生方に臨床写真を披露していただきました。

レアな疾患であっても、一度見ておくことで、

臨床で出会った瞬間に“snap diagnosis”ができるようになるかもしれません。

それくらい、「臨床写真」の力は絶大なのです!!

今月の Question

Q1 海外の一流医学雑誌に

「臨床写真」を掲載されるには? >>> 1312